

# けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2019.6 VOL.100



一般社団法人

茨城県建築士会

<http://i-shikai.com>

|         |  |
|---------|--|
| page    | 目次   |
| 01      | 報告 令和元年度通常総会   |
| 02      | 特集 大井川知事に茨城県政を聞く   |
| 04      | 建築作品紹介 かさま歴史交流館 井筒屋  |
| 06      | 報告 平成30年度 木造塾  |
| 08      | 報告 美浦村空家等対策の推進に関する協定書の締結／<br>水戸市と災害協定を締結   |
| 10      | 特集 第100号記念 歴代委員長インタビュー   |
| 14      | 先輩会員を訪ねて   |
| 16      | ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!   |
|         | 支部活動報告   |
| 19      | 県央支部 都市景観ウォッチング／<br>早春の那珂湊を歩いてみよう  |
| 20      | 有名建築家による施設見学会 第10弾   |
| 22      | 第99回建築セミナー報告<br>「アントニン・レーモンド<br>日本に遺してくれたもの」   |
| 23      | ひたちなか支部 ボウリング大会 ～未来の建築士特別参加～   |
| 24      | 石岡支部 研修見学会(埼玉県)／第14回絵画展  |
| 26      | 日立支部 空き家利活用プロジェクト  |
| 27      | 龍ヶ崎支部 元気な森林づくり活動支援事業<br>「子どもから大人までマルチ椅子作り体験」   |
| 28      | 県西協議会 住宅省エネルギー講習会／<br>建築基準法に関する講習会   |
| 29      | 「道の駅さかい」さかい河岸レストラン茶蔵<br>増築現場見学会  |
|         | 委員会活動報告  |
| 30      | 研修委員会 改正 業務報酬基準の説明会  |
| 32      | 会員委員会 第22回 会員美術展   |
| 34      | 女性委員会 2月わくわくセミナー<br>「住宅の寿命を延ばすメンテナンス」  |
| 35      | 3月ラブアークセミナー<br>「竹細工ワークショップ」  |
| 題字      | 大井川 和彦 茨城県知事   |
| 表紙      | かさま歴史交流館 井筒屋<br>設計・監理 株式会社 建築設計室 匠工房   |
| 発行      | 令和元年6月5日   |
| 次回      | 令和元年10月5日予定  |
| 部数      | 2,300部   |
| 発行      | 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸<br>〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F<br>TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330<br>E-mail kyy05413@nifty.com    |
| 編集      | 情報・広報委員会<br>市毛 純一 川又 晴彦 児玉 欽司 成田 孝成<br>大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜<br>塙 万治 稲野辺 浩 軽部 守彦 沢畑 一成<br>山田 一博 中村 正明 谷島 正憲<br>株式会社 高野高速印刷 |
| デザイン・印刷 |  |



# 令和元年度 通常総会開催される

令和元年5月24日(金) 午後2時30分  
ザ・ヒロサワ・シティ会館  
(茨城県立県民センター) 小ホール  
報告：総務・企画委員会

新たな年号となる令和元年度の通常総会(第68回)が5月24日(金)ザ・ヒロサワ・シティ会館(県民文化センター)において開催された。

開会に先立ち、出席者と委任状提出者を合わせ569名となり、定足数に達していることが司会者より報告され、武村副会長による開会のことばで通常総会が始まった。最初に平成30年度中に亡くなられた県央支部立原勇氏他10名に対し黙祷が行なわれ、続いて柴会長の挨拶。会長は「新しい時代を迎え元号が変わったが、令和はどのような時代になるのか、自動運転車やAI知能の導入、キャッシュレス時代となる等、平成より速いスピードで様々に変わっていくのではとの思いがあり、先を見通しづらい。県内の仕事面では資格者数に対し新築物件数がほぼ同数となっており、建築関係者において大変厳しい状況と再認識している。しかしながら本会においては委員会の努力と会員のご協力、国や県のご支援を頂いて、会員皆で力を合わせながら会を運営させて、令和の時代をしっかりと乗り切っていきたい。」と抱負を述べた。

続いて会員増加表彰が贈られ、優良支部としてJR水戸支部・筑波支部の2支部に、また個人として県庁支部の海老澤和寿氏の他3名へ、さらに長年にわたり本会発展にご尽力頂いた北茨城支部篠原孝之氏ら19名に記念品を添え表彰状が贈られた。

来賓祝辞では岡田広参議院議員、上月良祐参議院議員、本会顧問である伊沢勝徳県議会議員と島田幸三県議会議員よりそれぞれご祝辞を頂いた。祝電披露の後、柴会長を議長とし議事に入り、平成30年度事業報告と収支決算、令和元年度事業計画(案)と収

支予算(案)の他、理事の辞任に伴う後任理事の選任についての議案の5議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決され、最後に市毛副会長の閉会のことばにより閉会となった。

総会終了後、 Grillにおいて約200名の参加による懇親会が開催された。ご公務の都合で総会には出席頂けなかった大井川和彦知事と高橋靖水戸市長、田所嘉徳衆議院議員も駆けつけていただき盛大なる懇親会となった。

## ・来賓の方々

茨城県知事  
参議院議員  
衆議院議員 建築士会顧問  
参議院議員  
水戸市長 建築士会顧問  
茨城県議会議員 建築士会顧問  
茨城県議会議員 建築士会顧問  
茨城県土木部都市局長  
茨城県土木部技監兼建築指導課長  
茨城県土木部都市局住宅課長  
茨城県土木部営繕課長  
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長  
(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長  
(一財)茨城県建築センター 理事長  
(一社)茨城県建築士会 相談役  
(一社)茨城県建築士会 相談役  
茨城新聞社 水戸支社長  
日本工業経済新聞社 水戸支局長  
日本建設新聞社 水戸総局長

大井川和彦 様  
岡田 広 様  
田所 嘉徳 様  
上月 良祐 様  
高橋 靖 様  
伊沢 勝徳 様  
島田 幸三 様  
仙波 義正 様  
足立 信幸 様  
和田 幸三 様  
小坪 達也 様  
舟幡 健 様  
菊地 繁 様  
江原 秀明 様  
滑川 浩一 様  
松山 恒男 様  
二方 善郎 様  
沼田 好世 様  
井上 哲郎 様

特集

# 大井川知事に 茨城県政を聞く



この度は、創刊100号発刊おめでとうございます。記念すべき発刊に寄稿させていただきましたことに心より感謝申し上げます。日頃より、茨城県建築士会の皆様方には、建築士法に基づく免許登録業務をはじめとして、応急危険度判定業務や建築パトロール業務など、建築行政に関する県政運営にご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、本県の人口は平成12年の約300万人をピークに減少を続け、少子高齢化が進行するとともに本格的な人口減少社会に突入いたしました。人口減少は少しずつですが、確実に、私たちの身の回りに影響を及ぼし始めております。こうした少子高齢・人口減少を前提とした上で、いかにして活力ある社会、誰もが住みたい、住み続けたいと思える社会を作っていくかということを考えていく必要があります。

これまで経験したことのない時代の転換期を迎えるなかで、今後、本県が大きく飛躍できるかどうかは、これからの10年が極めて重要な期間になってきます。

このため、時代の変化に的確に対応し、未来に希望をもつことができる「新しい茨城」づくりを県民の皆様とともに推進していくために、県政運営の指針となる茨城県総合計画を、昨年11月に策定いたしました。

計画では「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念として、県民の皆様が「豊かさ」を享受し、「安心安全」な生活環境のもと、未来を担う「人材」が生まれ、「夢・希望」にあふれた「新しい茨城」をつくるため、4つのチャレンジに取り組むこととしており、多様な主体と連携・協働しながら、「活力があり、県民が

日本一幸せな県」の実現に向けて、果敢に挑戦を進めてまいります。

まず、新しい「豊かさ」へのチャレンジとして、質の高い雇用の創出や多様な働き方の実現などに取り組んでおります。近年、特に人手不足が深刻な課題となっている中、建設業をはじめ、県内産業の担い手確保のため、インターンシップや広報活動等を行うことにより、学生や次世代を担う子どもたちに対し、仕事の魅力を伝える取組みを行います。また、建設業における働き方改革を促進するため、県発注公共工事においては、休日の確保等を考慮した適切な工期設定や施工時期等の平準化、ICT（情報通信技術）による工事の効率化等を推進してまいります。

続いて、新しい「安心安全」へのチャレンジとしては、県民の命を守る地域医療・福祉や安心して暮らせる社会の構築、災害に強い県土づくりなどに取り組んでおります。これまで本県は、東日本大震災や関東・東北豪雨など、大きな災害に見舞われましたほか、今後も災害の大規模化が懸念されておりますことから、ハードとソフトの両面から、災害に強い県土づくりを強化していく必要がございます。

そのため、ハード面での対策として、橋りょうの耐震化、重要港湾の防波堤の整備や鬼怒川の集中的な改修など、東日本大震災や関東・東北豪雨からの復興に引き続き取り組むとともに、インフラ及び公共建築物の老朽化対策を進め、総合的な防災・減災対策を進めてまいります。

また、ソフト面においても、県民一人ひとりが適切な避難行動を取れるよう、住民同士で危険箇所等を地図に記載するマイマップに加えて、

個人ごとに災害時の行動計画を作成するマイ・タイムラインについて、県が主導し、災害発生の危険性の高い地域から作成支援を進めてまいります。また、建築士の皆様方には、災害時の応急危険度判定業務等にご協力いただいているほか、毎年県内17,000件以上の建築物等の設計、工事監理業務に携わっていただき、日々、安心安全なまちづくりを担っていただいております。引き続き、ご協力をお願いいたします。

さらに、新しい「人財育成」へのチャレンジも進め、次代を担う「人財」の育成や魅力ある教育環境づくり、「日本一、子どもを産み育てやすい県」の実現などを進め、本県の将来を担う人づくりを行いますとともに、多様性があり、誰もが活躍できる社会づくりにも取り組んでまいります。

最後に、新しい「夢・希望」へのチャレンジとして、新観光創生や魅力度No.1プロジェクト、活力を生むインフラと住み続けたいくなるまちづくりなどについて取り組みます。

これからの本県を活性化させるインフラ整備については、国等が整備する県内の高速道路として、東関東自動車道水戸線の未開通区間である潮来インターチェンジから銚田インターチェンジ間の整備が進められるとともに、暫定2車線で供用中の圏央道は、2024年度の完成を目標に4車線化事業が進められております。

県としましては、高速道路ネットワークの完

成により、さらなる企業立地の促進や観光交流の拡大などが期待されることから、引き続き、国等に整備推進を働きかけてまいります。

また、本県の二大都市である県都水戸と研究学園都市つくばの両都市間において、ビジネスや観光、経済、学術、文化などあらゆる分野での交流・連携を促進し、県域全体の活性化につなげていくため、水戸・つくば間の高速バスの増便実証実験に取り組み、交通ネットワークの強化を図ってまいります。

さらに、本年秋には、令和になって初めとなる茨城国体・障害者スポーツ大会が開催されますとともに、来年には東京オリンピックのサッカー競技が、茨城カシマスタジアムにて実施されますので、これらのビッグイベントの成功に向けた取組みを全力で進めております。

以上の4つのチャレンジを柱とする計画の実現には、県だけでなく、本県に関わる全ての皆様と県政の方向性を共有し連携・協働していくことが不可欠であります。県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け全力を尽くしてまいりたいと思っておりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。





建築作品紹介

# かさま歴史交流館 井筒屋



## 設計 主旨

### 【昭和の賑わいを取り戻す】

笠間市の観光の中心である「笠間稲荷周辺」は、初詣や春の陶炎まつり（ひまつり）、秋の菊まつりなど、年間を通して多くの観光客が訪れます。

しかしながら、以前と比べて近年はまちの賑わいが低下している状況です。

そこで笠間市では、笠間稲荷周辺の「昭和の賑わい」を取り戻すため、笠間稲荷門前通りの景観整備を進めています。

その中で東日本大震災を契機に廃業した旧「井筒屋旅館本館」を改修し、当時の魅力と賑わいを再現する町並みづくりのランドマークとして、旧「筒屋旅館本館」を改修整備する計画としました。

まずは、門前通りを見通せる場所に交流広場を設け、多様なイベント等に使用可能な配置とし、人々の集うハレの場としました。

さらに、本館の1階には門前通りと直線上の位置に石畳（古石敷）の通り抜けを設け稲荷周辺一帯の回遊性を向上させる回遊ルートを中心と位置付けそこに併せて観光インフォメーションを配置しました。

笠間稲荷から東側高台に点在する各公園、美術館、史跡等を行き交う人々の拠点として賑わうことが想像されます。

### 【再生への叙述：耐震補強】

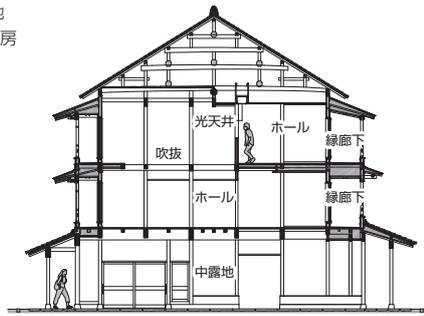
一般的に現代で使用されている文化財級等ではない歴史的建築物は、その時々の使用形態に応じ、手が増えられています。中には建築当時の面影をほとんど失ったものも多くあります。

本館も昭和46年に内外装の大規模な改修工事があり、1階フロントの天井組（建築時の梁組等）の他は全ての箇所を新建材等で覆い、改修されていました。

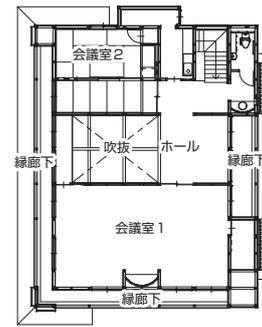
今回の事業は耐震補強工事を併せての改修工事であったため、建設当時の構造を図面として詳細に復

■建物概要／かさま歴史交流館 井筒屋

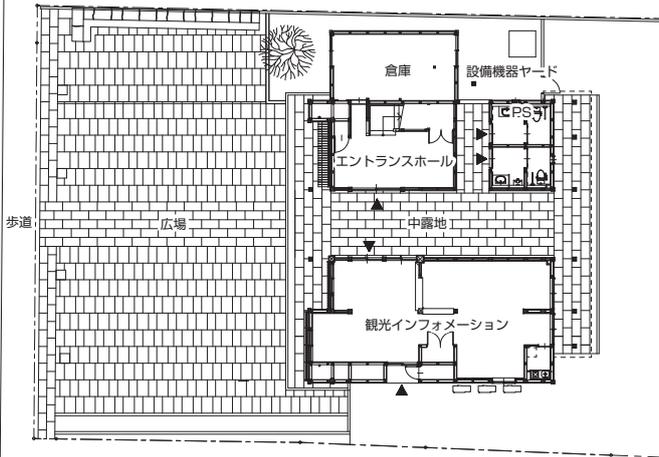
- 所在地 茨城県笠間市笠間987番地
- 設計・監理 株式会社 建築設計室 匠工房
- 建物用途(主要用途) 展示場併用事務所
- 建築面積 236.05㎡
- 延床面積 482.16㎡
- 構造 木造
- ※耐震補強工事を含む



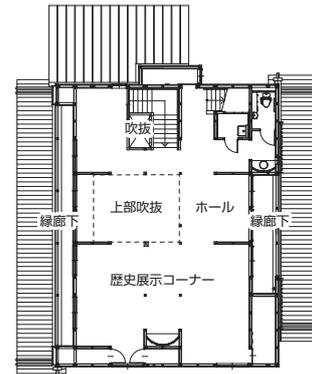
断面図



3階平面図



配置図 1階平面図



2階平面図

元し、元の構造に対し、どのような改修歴があったか調査を行いました。調査の中で建設当時大広間だったと思われる3階の室に一部ベンガラ色の土塗り壁を見つけた時は、華やかだった当時の情景を想像することができました。

耐震診断の結果による耐震性能の評価は、両方向共0.148~0.37とかなり低い値でした。補強計画では基本計画時にしっかりと与条件を検討し、構造事務所と何度も構造シミュレーション（補強金物の設置計画：施工性、意匠上の配慮を含め）を行うことで、合理的な補強計画を策定できました。

※特に耐力壁の計画では、補強量はともかく耐力壁の配置が、直接意匠に絡むので発注者側と設計者側との協議にかなりの時間を必要としました。

【ランドマークとしてのかさま歴史交流館井筒屋】

笠間稲荷より、石畳敷及び笠間朱塗りの統一色彩で整備された門前通りから東側へ一直線先先に目に入る、建設当時の佇まいを復元させた「かさま歴史交流館井筒屋」が、方向を見定める場合の道案内として重要な役割を担っています。

本館は1階に観光インフォメーション、2階に歴史（笠間城・笠間の偉人）展示コーナー、3階に会議室を設け、笠間の歴史や観光情報の発信、市民や観光客等の交流促進により、地域活性を推進する施設としました。

開館して1年経過しますが、来場者が6万人超と大勢の方が来場し継続的に多種多様なイベント等が開催されていて、交流広場を含め大変賑わっている様子がうかがえます。

【後世に伝える歴史的建造物】

昭和初期の一枚の古い写真で全盛期の旧井筒屋本館の姿を目にした時、建設当時の佇まいにより近づけることを優先順位が一番と考えました。

建設当時の縁廊下及び透かし入りの欄干を復元し、縁廊下越しに障子窓を設えました。陽が落ちて建物の照明が点灯した姿は歴史を感じさせる堂々としたものに仕上がってます。

後世に伝えると云う大義から、工事の大部分を占める木工事は伝統的工法で施工することが大事であり、内外造作材、及び仕上げ材は既存に使用された古材の再利用、茨城県産無垢材、笠間市由来の材料、伝統的手法を多用し市民及び観光客に親しまれてきた昭和初期の雰囲気を作り上げることができました。

特に、古色塗装、床左官仕上げについては、独特の仕様で自然体に歴史感を醸し出すことに成功しました。外部造作等は樹脂系塗料等の使用を最小限にすることで、木材の経年変化（歴史感）を感じることのできる後世に伝えられる建物となりました。

木材が馴染んできた5、6年後、さらに風情のある姿を魅せてくれるでしょう。



# 平成30年度 木造塾

平成30年6月3日(土)に開講した「平成30年度いばらき木造塾」は、平成31年3月2日(土)の講座をもって終了いたしました。6回の講座のほか見学会、木工実習を含めた多彩なカリキュラムの木造塾に16名が受講されました。

その受講生の中から下記の3名の方に感想を述べていただきました。



## 県央支部 藤原 由貴子

今年度で5年目となる木造塾に初めて参加いたしました。

計6回の講習に皆勤、また課題の提出も一応できたという意味では、とりあえず合格点はいただけたのかと思います。立派な受講終了証までいただきまして恐縮しております。

木造住宅のプランニングについては、特に誰かにじっくりと教えてもらう機会もなく今までの経験を頼りにやってまいりましたが、今回の松本先生の丁寧な講義で、架構グリッドという考え方の大切さ、木という自然素材の構造材を使う難しさを改めて気付かされたところです。

それなりのボリュームのある課題をこなすのも時間の制約からすると簡単ではありませんでしたが、それ以上に、受講生の提出課題に丁寧な添削をしてくださる、松本先生の講義外での作業は大変なものだったと思います。その熱意、優しさには本当に感謝の言葉しかありません。図面にこのように細かく赤ペン添削をしていただいたのは生まれて初めてです。決して大袈裟ではなく、大変感激いたしました。とともに、自分の能力の未熟さを思い知らされました。更なる勉強、肝に銘じます。

今回はオープン参加で、菊池棟梁の職場にお邪魔しました。大工道具を使つての仕口の加工も実際に体験し、大工仕事を知る、理解することの大切さを教えていただきました。また、金澤先生のリフォーム演習では、既存の図面にとらわれず、それでいて既存を生かすという、相反するともいえる作業の難しさを改めて実感いたしました。

最後に、5回の講義に加え全回にわたり出席して見守ってくださった松本先生はじめ、金澤先生、菊池棟梁、茨城県建築士会主催者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今後さらに続く講習であるならば、資格を取りたてのたくさんの若い建築士の皆さんに、木造住宅についてじっくり考える機会をつくるべく、是非とも参加していただきたいと思います。

## 土浦支部 松岡 利香

木組みによる木造住宅の設計に必要な構造的知識の必要性を感じ、日本の伝統技術に基づく理にかなった設計力を身に着けたいと思い受講しました。

広がり間取りと架構の設計を同時に行うことを、講義と実習で学べる貴重な場です。剛性のみにも頼る構造計画ではなく、木組みの特性を熟知し実践されている松本先生だからこその内容は、とても説得力があります。また、私にとっては実務上で抱えている疑問や課題に対して、毎回、何かしらの答えを得ることができる重要な機会でもありました。

このような講義+実習形式の講座は他にはなく、受講者にとっては実務的な学びが多く大変有意義な反面、松本先生をはじめ企画運営されている講師陣の方々のご負担はいかばかりかと思えます。にもかかわらず、多年にわたり開講してくださり感謝すると共に、「いばらき木造塾」が、今後も長く続くことを切に願います。

## 県央支部 小貫 弘巳

私は今年度はじめて「いばらき木造塾」を受講しました。

講座は、伝統工法の広がり間取りや構造からスタートし、そして建具や省エネ計算演習、住宅リフォーム設計演習などを学んでいきました。

最初は伝統工法の授業・本格的な課題についていくことができませんでしたが、一年間松本先生の授業を受けていく中で、先生の考え方やアドバイス、塾生皆さんとの意見交換などを通して、構造の考え方や間取りの考え方、在来工法と伝統工法の相違特徴など難しいながらも徐々に木造塾の面白さを感じていくことができました。

8月のオープンセミナー「継手の実習」では実際に参加者全員が一人一本ずつ、土台や柱梁の継手をミノヤノコギリを使って加工し、最後に「土台」「柱」「梁」と組み上げていくという本格的なものでしたが想像以上に難しく、ご指導していただいた先生方々をととてもヒヤヒヤさせてしまいました。

木造塾は今回が最終とのことでしたが、これからも木造について自分なりに学んでいければと思っています。ありがとうございました。

# 報告

## 美浦村空家等対策の 推進に関する協定書の締結

平成31年3月26日（火）美浦村と（一社）茨城県建築士会、茨城司法書士会、美浦村建設業協会が相互に連携・協力し、美浦村内の空家等対策の推進を図ることにより、安全で安心に暮らせるまちづくりに寄与することを目的に「空家等対策の推進に関する協定書」を締結しました。

市町村の空家等対策の推進に関する協定については、平成29年度の日立市を皮切りに、平成30年度、牛久市、土浦市、龍ヶ崎市、常総市、稲敷市と合計6市と締結してきました。

国が実施した平成25年度調査によると、本県の空家は185,000戸におよび空家率にして14.6%、7戸に1戸が空家という状況です。

このため、市町村では、平成27年5月に施行された空家特措法に基づき、「空家等対策協議会」の設置、「空家相談会」

などに取り組んでおり、本会では、支部と連携して会員を派遣するなどの支援活動を継続的に行っており、今後も県や市町村の要請に応じて必要な支援活動を行ってまいります。



新田稲敷支部長

中島村長

柴 会長

## 水戸市と災害協定を締結

本会は3月6日（水）、大規模な災害が発生した場合において水戸市が行う建築物等の調査等の災害対策業務に対する応援協力に関して、水戸市と「災害時における対策業務の応援協力に関する協定書」を締結しました。

本会柴和伸会長、会員委員会根本勝義委員長、清水洋一副委員長、加藤繁治専務理事、そして県央支部市毛純一支部長が水戸市役所を訪れ、高橋靖水戸市長との締結に臨みました。

この協定は本会会員の社会貢献活動としての応援協力を行うもので、水戸市の要請を受けたときは、できる限り速やかに建築物等の調査等の災害対策業務を行い、その結果を水戸市に報告することになります。高橋靖水戸市長からは「住宅は生活の基盤で、市民の安心安全の暮らしには欠かせない。大規模な災害が発生しないことを望むが、協力は心強い。」

とのコメントをいただきました。

同日より3月13日（水）までの期間、水戸市役所1階多目的スペースでは本会会員美術展、そして水戸市と共同で「住宅やブロック塀の安全対策に関する相談会」を開催しました。



# CREATE THE EARTH

## アルクは土から地球の未来を考える



防災井戸や災害時対応自販機の設置等、地域の皆様のお役に立てる取組みを積極的に進めています。

### ◆地盤調査

- スウェーデン式サウンディング試験
- ボーリング（標準貫入試験）
- ミニラムサウンディング ○紙上調査

### ◆設計提案（建築物／擁壁下 等）

- 基礎仕様設計提案 ○補強方法設計提案

### ◆地盤改良工事・地盤補強工事

- 深層混合処理工法『スリーエスG工法』 ←4年連続全国第1位の実績
- 杭状地盤補強工法『 $\Sigma$ -i（シグマアイ）工法』 ○浅層混合処理工法
- パイルド・ラフト基礎工法『RES-P工法』 他

### ◆沈下修正工事

- 現状調査 ○設計提案 ○鋼管圧入工法 ○グラウトフォーム工法 他

### ◆地中熱ヒートポンプ全館空調システム

- 設計提案 ○熱源掘削工事 ○ヒートポンプ設置 ○補助金申請代行

### ◆井戸鑿泉工事（防災用等）

- 事前調査 ○井戸掘削工事 ○ポンプ交換工事 ○古井戸活用提案

**SS調査**（紙上調査および  
ハンドオーガー付）  
**ぜひご相談ください**  
**30,000円～**（税別・5点まで）



All Risk Consultant

## 株式会社 アルク

〒310-0846 水戸市東野町542番地5  
TEL. 029-246-9511 FAX. 029-246-9512  
<http://www.a-rc.co.jp/>



特集

# 歴代委員長 インタビュー

『けんちく茨城』  
第100号記念

歴代委員長  
インタビュー①

## 建築士会員として あのころから

創刊当初は青年部が中心となり、県内4ブロックを持廻りで編集を行っていました。第1号編集メンバーの代表として話を伺いました。



県央支部 小沼 隆志

突然ですが、昭和62年12月号の「けんちく茨城」の編集メンバーに私の名前がありました。31年前の事だそうです。その中に「趣味と健康」と言うことで私の手記が残されていました。(何ともお恥ずかしいことで…)

ところで、今回は会報「けんちく茨城」(創刊100号)の特集として「歴代委員長インタビュー」を組むことになったそうです。が、私は委員長ではなかったように記憶しています。でも、遠い昔を思い出して「あのころから」を綴ってみました。

私は最近何につけても人生は「出会い」であると、考えるようになってきました。学生時代の友人との「出会い」、次に社会人としての「出会い」は、上司・先輩・同期生との「出会い」です。現場監督員とし

て配属された私は近隣の皆さん(特におばちゃん)にもお世話になりました。駆け出しのまま大洗へ戻り、今日までの建築士会会員の皆様とのお付き合いは、早や40年になろうとしています。多くの人々に出会い、共に流した汗と涙と笑い、楽しい時を過ごさせていただきました。(ありがとうございました…) お陰様で、大した病気もなく今年も古希を迎え人生の最終章に入ろうとしています。仕事はボチボチにして、元来体を動かすことが好きな私は、3年前から「水戸シニアスキークラブ」に所属して、冬はスキーを楽しんでいます。ここのスキークラブの平均年齢は70歳を優に超えています。私は丸っきりの「ひよっこ」で、滑りも「ぴよぴよ」です。今シーズンは13日ほどゲレンデにいましたが来シーズンの目標は20日です。滑れる喜びに水戸シニアスキークラブの皆さんに出会えたことを感謝しております。昔の良き時代昭和・平成に感謝しながら令和を迎え、新たな「出会い」を求め「会えてよかった」と言えるように、言われるように何毎にも熱き思いをぶつけていきたいと思っています。(骨が折れそう…) これからも宜しくお願い致します。

1987年発行  
第1号  
B5判  
2色



歴代委員長  
インタビュー②

# 会報編集の思い出

行方支部 橋本 照雄



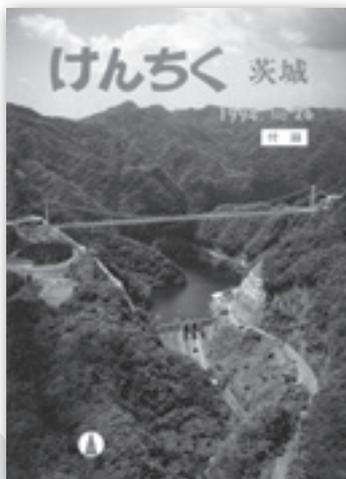
当時を顧みますと会報誌は青年部を中心に発行しておりましたが、青年部として負担が大きくなったこともあり、私が所属しておりました組織委員会（現在の会員委員会）で発行することになり担当副委員長として活動しておりました。平成10年度に会報委員会が発足することになり、尾関前会長より説得され委員長を委嘱されまして、平成10年度から平成14年度の2期4年にわたり活動をしました。浅野前情報・広報委員長に副委員長をお願いしまして委員会の委員構成にあたり苦渋しましたが数名の会員の方に説得をし快く承諾を得まして少人数でしたが活動を始めた記憶がございます。

まず委員会として最初に取り組んだのが、会報誌のサイズ（当時はB5版）及び表紙の変更や内容の構成等で私が組織委員会で会報誌を担当していたことから以前のイメージが強く残っておりましたが、会報誌に関して未経験の委員の皆様及び事務局の協

力のもとで相当な時間をかけまして知恵を絞り合い会報誌の内容の充実を図りまして現在の会報誌の前進の礎を築けたものと思います。

現在の会報誌を拝見するたびに、当時の記憶が甦ります。私の2期4年間活動にご協力を頂きました委員の皆様は心より感謝を申し上げます。

1998年発行  
第38号  
B5  
カラー



1994年発行 第26号  
B5 カラー



1998年発行 第37号  
B5 カラー



1999年発行 第40号  
A4 カラー

歴代委員長  
インタビュー③

# 8期16年を振り返って

県央支部 浅野祐一郎



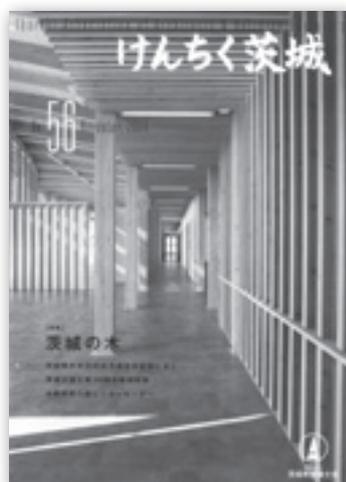
平成14年に柴会長の就任と共に、平成30年までの8期16年間、委員長として会報誌の発行、HPを通じて情報の発信など士会事業活動の情報広報を務めさせていただきました。16年を振り返ってみますと様々なことがありました。会報誌においては、それまでは不定期だった発行が年3回の発行、会員への直送、毎号建築作品の紹介など幾つかがシリーズ化されました。発行回数が増え、編集作業に大変な思いをしたこともありましたが、No.50号から担当し今回発行のNo.100号に繋がったことは、続けてきて良かったなと思っています。平成の時代は大きな災害が発生した時代でもありました。特に平成16年、19年に発生した新潟中越方面地震では事務局に待機し、助川さんと共に応急危険度判定士の現地派遣手配、深夜の出発にも関わらず協力いただいた判定士の皆さん、現地から被害状況の報告などを受け、災害時の対応は士会という組織がいかに優れているかを実感した時でもありました。その後平成23年にも東日本大震災が発生。過去に経験したことのない災害となり、翌24年に復興中の中で開催された第55回全国大会「いばらき大会」にも広報担当として事業

に参加出来たことも良い思い出のひとつとなりました。委員長を下りたいと思ったことは幾度かありましたが、柴会長はじめ事務局の加藤局長、助川次長、会員の皆さんの協力により継続できましたことに感謝申し上げます。また、今後も士会事業の発展の為に少しでもお役にたてればと思っております。

2002年発行  
第50号  
A4  
カラー



2003年発行 第52号  
A4 カラー



2004年発行 第56号  
A4 カラー



2018年発行 第96号  
A4 カラー

# 光商建材株式会社

〒310-0851 茨城県水戸市千波町2353-21  
TEL:029-243-9911  
FAX:029-243-9784

金属製建具工事及び金物製作のご用命は  
当社までご連絡下さい。

## LIXIL

株式会社 LIXIL

北関東支社 水戸営業所  
〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町 1852-86  
TEL 029-307-4001 FAX 029-307-4007

ビル北関東支店 ビル茨城営業所  
〒310-0044 茨城県水戸市西原 1-1-20  
TEL 029-244-6146 FAX 029-227-3393  
<http://www.lixil.co.jp/>



## B.M FUJITA

株式  
会社

# フジタ ビジネス マシンス

水戸市城南 1-2-8

☎ (029) 225-1755 (代)

FAX (029) 225-1712

●お気軽にお電話下さい、営業マンがお伺いいたします。

imageRUNNER  
ADVANCE



<http://www.fujita-bm.co.jp>

# 先輩会員 を訪ねて



## 支部改革

### 久米 恒雄 氏 (鉾田支部)

昭和29年生まれ／昭和57年入会／会員歴37年

入会した時は、鹿島支部鉾田分会でしたが、昭和61年に鉾田支部として独立し、研修会やソフトボール大会に参加して交流を深めました。また実務では住宅金融公庫の現場審査の勉強会を建築士会と建築指導課の主催で行い、公庫融資住宅の建築に役立ちました。

鉾田支部会員も発足時の50人から80人に増えて支部行事の参加も大勢あり活発な組織運営をしています。私も会計を預かり大変でしたが充実した日々を送ってきたことを思い出します、現在の鉾田支部は、45名の会員しかも、高齢化状況です。

#### ―鉾田支部長としての抱負

支部長を9期18年努めてさせていただき、年を経ることに退会者が増えて、新入会員が、少ない時代になっています、バブル景気と言われた時代は、地場の大工工務店さんの新築住宅が多かったが、現在の新築住宅は、会社組織の体制の良い所に仕事が流れているようです。

#### ―後輩へのメッセージ

##### 『支部改革』

どうすれば建築士を増やせるか、建築士会に入会してもらうには、入会して良かったと言えるような鉾田支部を共に創って行ければと思っています。



## 建築士とは

### 岡田 一夫 氏 (常総支部)

昭和27年5月生まれ／昭和57年入会／会員歴36年

私は建築との関わりは18歳から今48年を超え、今後も含めると人生の大半、まさに「けんちく」に感謝です。

漢字博士の白川静先生によると、  
一「建」という字は聿（いつ）は筆の意味  
廴（いん）儀式を行う中庭の周囲の壁で  
建は中庭に筆を立て方位、地相を占ったと  
考え建物を建てて都を造る事を言い、そこ  
から「たてる」の意味「築」は 筑と木  
筑は竹籠に土を入れ突き固め土台を築くこ  
と、木を杵材として間に入れた土を突き固  
めるから、「きづく」となった。

以上 白川静博士より―  
まさに建築は神事としていたのですね。

#### ―常総支部会員としての抱負

平成29年まで支部長を7期（14年）務められたこと、改めて支部会員の皆様に感謝申し上げる次第です。

我々は物造りの創造者であることを肝に銘じ、そして、建築士ができる社会貢献活動を見つけていきたいと思っています。

年々、昭和の思いが物創りに出てきそうなの頃、新しい考え方、技術と溢れる情報をどのように咀嚼し糧にするかが課題で、学ぶことが多すぎます。

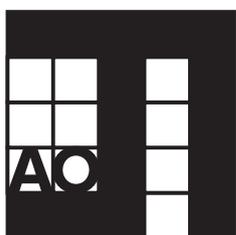
それには、若い支部会員の方との交流が必須かもしれません。

#### ―後輩へのメッセージ

建築士会とは個人の技術資格者で同じ地域に活動する仲間仕事（物創り）への誇りと、協調性そしてセンスに長けたものでなければなりません。

またある意味では、究極のサービス業とも言えます。

会員各位で世代を超え切磋琢磨し集うことの意義を見つけてください。



株式会社 **市毛建築設計事務所**

代表取締役 **市毛 純一**

〒311-4152 水戸市河和田2丁目2190-7  
TEL 029(253)1331 / FAX 029(253)3511  
E-mail : j-ichige@sunshine.ne.jp

**建築・土木・開発・設計・施工**

一級建築士事務所

株式会社 **潮田建設**

〒300-2615 茨城県つくば市田倉5254-14  
TEL (029) 847-2169 (代)  
FAX (029) 847-5268

建築塗装・総合防水・広告看板

熱を消す不思議なハイブリッド塗料 **「熱交換塗料・タフコート」**

暑さ・ECO(電気料金の削減)対策! ・炎天下のアスファルト・プールサイドも素足で歩ける

株式会社 **タケイ・アーツ**

■ TEL 0299-23-1738 ■ <http://www.i-takei.co.jp/> ■

# Welcome Freshman!!



安藤 修 53歳  
古河さしま支部

- ①安藤 修・53歳・古河さしま支部
- ②工務店・建築大工・設計
- ③はじめまして。知人の建築士の紹介でこの度ご縁があり、古河さしま支部に入会させて頂きました。どうぞ宜しくお願い致します。
- ④入会の目的は専門的情報を得て多くの建築士の方と交流したいと思入会させて頂きました。
- ⑤講習会、親睦会、木造建築物の勉強会
- ⑥子供のころから、ものづくりが好きで、体験工房も興味津々、夏休みの工作からはじまり、割りばしゴムてっぽう、釣りざお、木琴、日時計、木造カヌー、リフォーム、家、大人になるにつれてつくる物が大きくなりました。建築士として木のぬくもり、木の香りをを感じる、しかも見た目かっこいい木造住宅を設計したいと思います。

- ①三浦 衛・31歳・行方支部
- ②ゼネコンに務め施工管理の業務をしています。
- ③昨年の一級建築士試験に合格し行方支部に入会させて頂いた三浦衛と申します。本当に下手ですがゴルフが好きです。昨年は勉強を言い訳に練習をしていなかったのが今年に入って猛練習中です。
- ④普段の業務は施工管理なので建築士としての業務はほとんどありませんが、資格を取っただけで終わらせないよう士会の講習会や、先輩方との交流を通じて建築士として研鑽を積むため友人の勧めもあり入会致しました。
- ⑤一級建築士の二次試験受験者向けに開催して頂いたような現場見学会を、施工中の現場や県内の建築物で建築士向けに開催頂ければ是非参加したいです。他にも案内を頂いた活動には積極的に参加させて頂きたいと思っています。
- ⑥仕事だけでなく周囲の人に頼られる知識、技術を持った建築士となり社会に貢献していきたいと思っています。



三浦 衛 31歳  
支部名：行方支部



飛田 あかね 21歳  
支部名：県央支部

- ①飛田 あかね・21歳・県央支部
- ②今年の4月から新入社員として、早川建築事務所で働かせていただいております。
- ③この旅、入会させて頂きました、飛田あかねと申します。新社会人として仕事を始めたばかりでまだまだ未熟者ですが、明るく元気に頑張って参ります。これからもどうぞよろしく願いいたします。
- ④建築に関する様々なセミナーを受講でき、建築関係のお知らせやイベントが多くあることに魅力を感じ入会させて頂きました。また、建築のお仕事を始めて間もないため、建築士会を通して多くの方々と交流できたらと思います。
- ⑤セミナー、見学会など。
- ⑥早く、一人前になれるように自分のできる仕事をたくさん覚え、これからも初心を忘れずお客様に自信を持って提供できる建築物をつくれるような立派な建築士になりたいと思います。

- |        |                      |
|--------|----------------------|
| ①氏名・支部 | ④入会の目的               |
| ②勤務先   | ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動 |
| ③自己紹介  | ⑥建築士として将来の目標         |



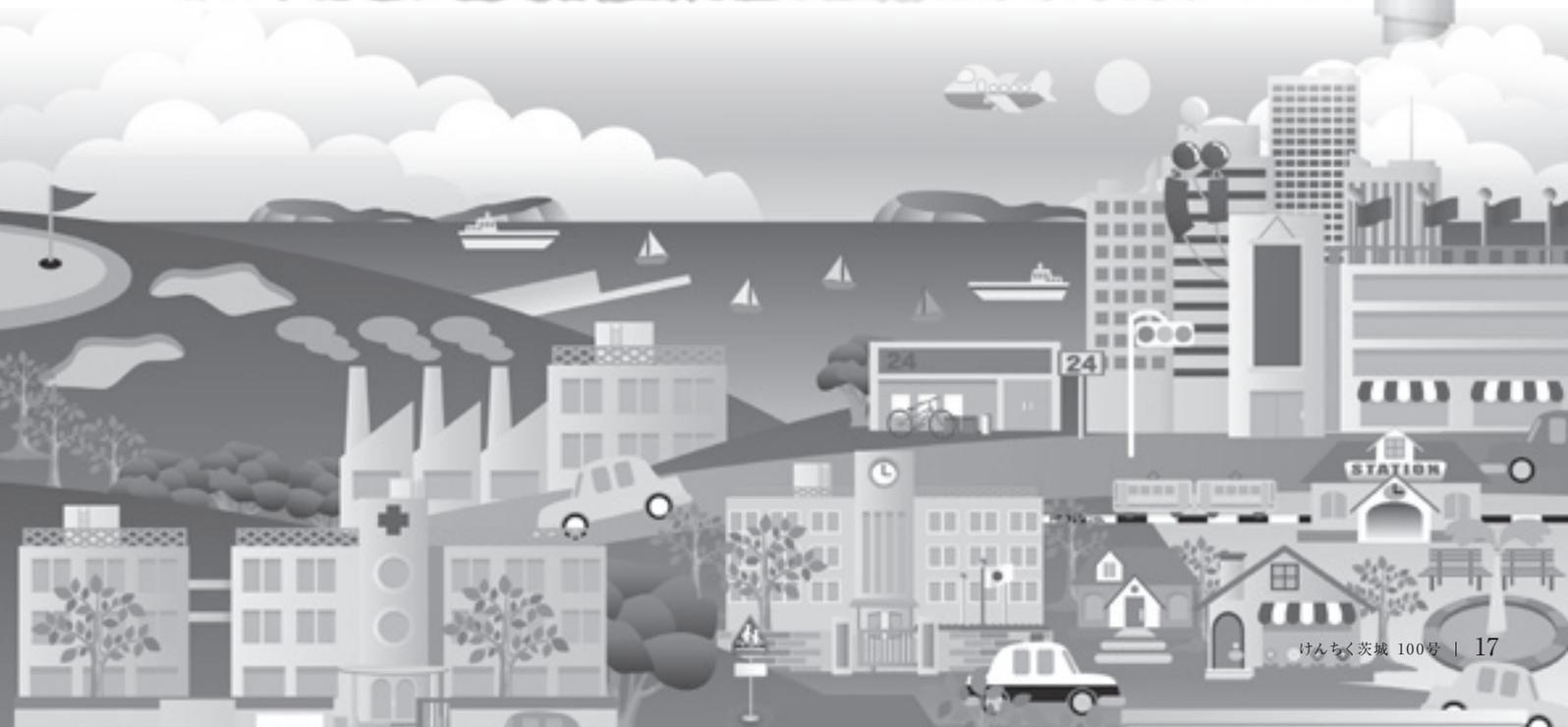
**波田 雅也** 33歳  
支部名：筑波支部

- ①波田 雅也・33歳・筑波支部
- ②建設会社・研究開発
- ③はじめまして、波田と申します。茨城県（つくば市）に住み始めて10年が経ちます。おもに免震・制震構造の技術開発に関する仕事をしています。
- ④建築士に合格したら必ず入会するものと思っていました。そうでもないと後で知りましたが、様々な分野の方と交流して知見を広めるのが目的です。
- ⑤講習会、サッカー、フットサル
- ⑥安心安全な建物づくりの一助になりたい。

- ①村上 昌史・40歳・筑波支部
- ②村上設計室 代表
- ③2017年つくば市に一級建築士事務所「村上設計室」を設立しました。よろしくお願ひします。
- ④以前より建築士会の活動に興味を持っており、独立を機に入会しました。入会後には、ソフトボール大会やセミナー、支部忘年会等に参加しました。
- ⑤講習会や見学会に参加して、スキルアップを目指したいです。
- ⑥建築士としての視点からまちづくりや地域の活性化に貢献できればと思っています。



**村上 昌史** 40歳  
支部名：筑波支部





# 株式会社 匠工房 建築設計室

〒305-0029

茨城県つくば市花園3番地3

TEL: 029-852-5028

FAX: 029-851-3674

Mail: info@takumi-ae.com

HP: http://www.takumi-ae.com



## MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 **松本総建**

代表取締役会長

**松本 一幸**

— 特定建設業 —

茨城県知事許可(特-29)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2  
TEL 029-295-7715(代)  
FAX 029-295-6548

本 社  
営 業 所  
第一機材センター  
第二機材センター

〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5  
〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6  
〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1  
〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》

■ 枠組足場工事  
■ 建築土工事  
■ 足場提案企画

■ くさび式先行手摺足場  
■ 土工事

■ 鉄骨建方工事  
■ 外構工事

### 業務内容

- ヘーベル (旭化成)
- ベースパック (旭化成)
- アスロック (ノザワ)

## 株式会社 塙商事

〒319-1414 日立市日高町1丁目6番37号

TEL 0294-42-4090 FAX 0294-43-7392

E-mail: hanawa-shouji@smile.ocn.ne.jp



反射炉跡

## 都市景観ウォッチング／ 早春の那珂湊を歩いてみよう

2月23日(土)一般参加者29名、士会員8人、ひたちなか市観光ボランティアの小梨さまにご協力頂き合計38人で、那珂湊の町歩き(景観ウォッチング)を行って参りました。前日までの天気予報に一喜一憂しましたが、歩くにつれ青空が広がり気温も上がり、歩くにはまずまずの天候になりました。

集合場所は、那珂湊駅。大正2年開業の木造駅舎は、「関東の駅舎百選」のひとつです。トラス構造の屋根の架構について、小林要理事から構造的観点での講和をホームで受けスタートしました。

その後、勇稲荷神社、まちかど博物館(明石屋)を廻り、山上門、そして反射炉跡を巡ります。小梨さまに反射炉建設の背景やその歴史に皆、興味津々です。その後、井戸のある西滝不動尊を訪問し、まちかど博物館(稲葉屋)で小休憩です。こちらは、鉄砲玉が有名な和菓子屋さんです。このまちかど博物館は、他のまちかど博物館と同様に古い木造建築(出し桁造り)が今も残っています。稲葉屋の道路

を挟んで那珂川が目の前ですが、この辺りが昔の魚市場だったようです。そして、500mほど歩いて、華蔵院に到着です。

ここにある梵鐘は、江戸時代以前のもので希少価値の高いものとのこと。また、このお寺には猫にまつわる伝説もあるそうです。(瓦屋根の上に猫の像もあります)その後、印象的な赤い門、仁王門の前で参加の皆様と記念撮影して、次に向かいます。現在的那珂湊第一小学校にある文武館跡、天満宮、まちかど博物館(あさ川)を訪問し、鳥居が印象的な四郎介稲荷神社へ向かいます。

宮司さんのお話を拝聴すると、静神社(瓜連)、三島神社(米崎)、笠間

稲荷神社(笠間)四郎介稲荷神社(那珂湊)にてそれぞれの狐が住して、御祭神の使いとして人々に尊敬されてきたとの伝説が残っているとのことでした。

次は、少し南に戻り金龍水松影の井戸を訪れます。光圀が命名したとされており、この井戸より東(海)側で掘られる井戸は海水になってしまうそうですが、この井戸水は、今も昔も地域の命の水として重宝されているそうです。

そこから、南側に階段を上ると今回の最終地点の水戸藩別邸跡=い賓閣跡(今は湊公園)です。那珂湊駅からここまで4kmほど歩いてきました。ここから見える景色は、また別格です。この「い賓(ひん)」とは、「つつしんでみちびく」との意味があり、客人をもてなす応接所として使われていたとのこと。

公園内にある公民館にて、楽しみにしていたお花見弁当に舌鼓を打ち解散となりました。那珂湊の歴史と共に春の訪れを感じた一日となりました。



まちかど博物館(あさ川)



華蔵院仁王門の前で

## 事業委員会主催 『有名建築家による施設見学会第10弾』に 参加して

10回目を迎える今回は、2020年の東京オリンピック関連施設の見学会です。肌寒く天候が心配される中、和気あいあい21人の参加者を乗せ7時45分に水戸を出発しました。

初めに、オリンピックアクアティクスセンター15,000人収容の国際水泳場です。高さ40mの四隅のコア柱に重さ7千t、2万㎡の地上で組んだ大屋根が、すでにリフトアップされていました。圧倒的なスケール感は仮



そなエリア東京 屋上にて

囲いの外からでも充分に感じることができました。

次に豊洲新市場水産仲卸売り場棟3階で、1.5時間の自由食事タイムですが、どの店舗も待ち時間が長く混雑し、希望の食事は大変厳しい状況でした。そなエリア東京は、防災体験学習施設であり首都直下地震の体験をし、目を白黒。備えることの大切さを改めて痛感しました。有明アリーナは、15,000人収容のメインアリーナで、バレーボール、車いすバスケット競技に使用されます。日本建築会館では、アルヴァ・アアルト生誕120年国際シンポジウムが開催されており、関連展示物等を見学しました。

最後は予定外でしたが、新国立競技場です。他に類を見ない木のぬくもりを感じさせるスタジアムで、世界最高水準のユニバーサルデザインを採用しています。ザハ案白紙撤回で出遅れたかに見えましたが、2019年11月末に完成予定ではほぼ順調に進行中との事。幾多の困難を乗り越えての工事進行はお見事、まさに日本の技術でしょうか。水戸到着は、19時とほぼ予定通りでした。今回は足早の見学会では有りましたが、日本の建築設計と建築技術の集結に改めて驚愕し、生涯学習意欲を掻き立てられる見学会となりました。



新国立競技場



日本建築会館

Human social technologies 電気・通信・防災・セキュリティー

# ミナト防災通信工業 株式会社

～ Minato Bousai Co.Ltd. SINCE 1974 ～

茨城・東京・神奈川

[www.minatobousai.co.jp](http://www.minatobousai.co.jp)

設計・監理



株式会社 須藤隆建築設計事務所

茨城県土浦市港町 1-7-23

TEL 029-822-4362

FAX 029-822-4394

URL <http://www.sudou-ad.co.jp>

E-Mail [info@sudou-ad.co.jp](mailto:info@sudou-ad.co.jp)

# 第99回建築セミナー報告 「アントニン・レーモンド 日本に遺してくれたもの」

2月14日に25名の参加者が県総合福祉会館研修室に集い、第99回目の建築セミナーが催されました。講演者はレーモンド設計事務所代表取締役の三浦敏伸さん。1919年（大正8年）旧帝国ホテル設計監理のため、フランク・ロイド・ライトと共に来日したアントニン・レーモンドは1921年（大正10年）、日本に設計事務所を開設。同社は現在も常に独創的な作品を発表している。驚いたのは1934年（昭和9年）銀座の書店 教文館ビル屋上での竣工の記念撮影で居並ぶ男たちだ。レーモンドをとり囲む12人のスタッフの中には前川國男、吉村順三、ジョージ・中島など戦後活躍する多くの建築家がいた。また当

時、夏季事務所の軽井沢「夏の家（現ペイネ美術館）」の設計に当たりコルビュジェの影響を受けており、「夏の家」発表時にコルビュジェ原案であることを建築誌JAに載せるも、見落としたコルとの間で行き違いがあったという逸話は面白かった。なお1967年に入所された三浦さんは最晩年のお弟子さん。レーモンドが提唱した、直截性、単純性、経済性、自然主義、民主的な建築の五原則は建築を創る上での真理であり、社会やクライアントに対する誠意であるとする教えを守り引き継いでこられた。90分を超す講演でレーモンド夫妻の人となり、事務所の歴史と日常、名作・代表作の解説等を熱く語られた。



16世紀の印刷風景

**印刷機は  
ぶどうのしぼり機から  
始まりました。**

あなたの“ひらめき”に  
確かな技術でお応えします。

- ◎ 総合印刷 企画・デザイン  
大判カラー出力  
オンデマンド印刷  
マルチメディアコンテンツ  
シール・ステッカー、フィルム製品  
CD・DVDプレス、コピー  
販促・ノベルティ・各種名入れ製品 など
- ◎ 電子書籍(EPUBイーパブ)、電子ブック、PDF作成  
カタログ、チラシ、パンフ、冊子、紙資料、フィルム、その他

その他、お気軽にご相談ください。

**株式会社 高野高速印刷**  
<http://www.takano-kousoku.co.jp>

平須工場《営業本部／製造本部》  
〒310-0853 茨城県水戸市平須町1822-122  
TEL. 029-305-5588 FAX. 029-305-5533  
<http://www.takano-kousoku.co.jp> e-mail [tki@atlas.plata.or.jp](mailto:tki@atlas.plata.or.jp)

高野高速印刷

検索



## ボウリング大会 ～未来の建築士特別参加～

3月9日(土)にひたちなか市内の勝田ミナミボウルで、毎年恒例の支部会員の親睦をはかるボウリング大会が開催されました。

今年は、特別参加で東石川ソフトボウリングスポーツ少年団(監督沢畑)の5年生と4年生11人が参加してくれました。

監督としては子供達に、ソフトボウリング以外でも色々な事を経験させてあげたいと思い、支部長及び青年部役員に相談をして、ボウリング大会に参加させてもらいました。

キャプテンの加藤君は、「監督は建築士と言うことは知っていましたが、他の建築士の人達と仲良くふれあうことができ、建築の色々な話を聞いて楽しかったです。建築士の人達が身近に感じられ、将来僕も建築士になろうかな!!」と話していました。

今年のボウリング大会は、参加者が増え賑わいのある大会でした。

優勝：沢畑 一成(監督)  
359(2ゲームトータル)

子供達や保護者に、凄く良いところを見せてられて嬉しいですよ、参加して良かったな。

### 川又支部長追伸

沢畑君は1ゲーム目になんと

200UP達成!

プロ並みだね。

密かに特訓を重ねていたとか、  
いなかったとか。



支部長始球式 ストライク?



表彰式(優勝者沢畑)



未来の建築士達と集合写真

## 埼玉県へ、研修見学会

石岡支部では毎年恒例になっています見学会を平成30年10月16日(金)に開催しました。行き先は全国大会が開催された埼玉県、参加者は15名。

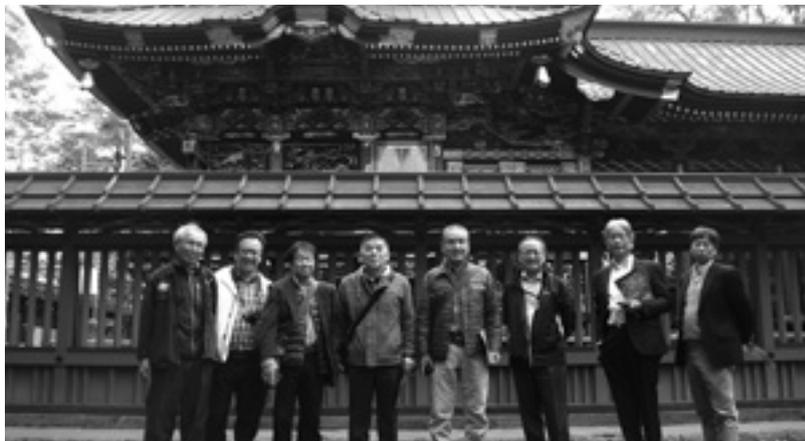
1ヶ所目の見学場所は、猛暑で有名な熊谷市にある、妻沼(めぬま) 聖天山歓喜院。境内正面入口に位置する高さ18mの銅板葺きの八脚門、国指定の重要文化財「貴惣門」(きそうもん)は立派で感動ものです。また、本殿「聖天堂」は、日光東照宮を彷彿させる本格的装飾建築で、その精巧さゆえに「埼玉日光」と称され、埼玉県内の建物では唯一の国宝に指定されています。彩色彫刻は見事の一言です。境内の建物は全てきれいに修復されていて、大切に保存されています。また、来訪者用駐車場も整備されていて、おもてなしの心を感じます。

2ヶ所目の見学場所は、映画「のぼうの城」やテレビドラマ「陸王」の舞台となった行田市です。人口は8万人弱で石岡市とほぼ同じです。行田市観光ボランティア会に

ガイドをお願いして、足袋蔵巡りをして街中を1時間半ぐらい歩きました。道路は電柱地中化が進んでいます。歩道上のトランスも綺麗に囲われ、上にモニュメント像が載っていたりして、歴史を感じられるように整備されています。

足袋屋が贅を尽くして建てた「足袋御殿」と呼ばれた邸宅が、料亭として復元された建物で美味しい昼飯をいただきました。食後、昭和天皇がご覧になられた庭園や建物内部を見学させていただきました。今回の見学会も、まちづくりの参考になるものが沢山あったように思えます。

最後に大宮ソニックシティで開催されている全国大会の雰囲気を味わいながら帰路につきました。



## 第14回絵画展

石岡支部 直井 重光

石岡支部で恒例となっている絵画展は、今年で14回を迎えることになりました。石岡市内小学校19校の4・5・6年生に夏休みを利用して、「未来に自

分が住みたいまちや家」または「いしおかに、こんなお店があったらいいな!」の題目で生徒たちに描いてもらいました



9月5日・6日には各学校から回収。111名の方が応募してくださいました。

9月21日に府中公民館にて審査会、絵画に詳しい安部田先生を審査委員長に迎え、先生と会員でそれぞれ作品を選び順位を決めていきました。金賞や協賛企業のべんてる株式会社のべんてる賞など17点を選びました。作品をまちかど情報センターや中央公民館に展示、のち12月8日に表彰式を行いました。



# 高橋商事株式会社

代表取締役 高橋 正光

## ■本 社

〒311-1114 茨城県水戸市大串町952-4番地  
TEL.(029) 269-3066 (代) FAX.(029) 269-4130

## ■営業所 大洗インター SS (LPG 事業所)

〒311-1115 茨城県水戸市大串町957-1番地  
TEL.(029) 269-2135 FAX.(029) 269-5577

### 営業御案内

#### 工事部

- ・上・下水道工事設計施工
- ・給排水衛生空調設備工事設計施工
- ・合併処理浄化槽工事設計施工
- ・機械器具設置工事設計施工
- ・土木・舗装工事設計施工

#### 石油部

- ・石油製品販売  
昭和シェル石油(株)販売店
- ・各種損害保険取扱  
(株)損保ジャパン代理店

#### LPG部

- ・LPガス販売
- ・ガス関連商品販売
- ・ガス設備工事設計施工

## 和知商事株式会社

ALC・杭・地盤改良・耐火被覆・金属屋根・OAフロア・パーテーション・  
スポーツ弾性塩ビシート・雨水貯留・壁面緑化・インターロッキング・平板



URL <http://www.wachisyuji.co.jp>

### 本 社

〒310-0013 水戸市若宮1丁目2番7号  
TEL(029)224-6361(代) FAX(029)224-6504

### つくば営業所

〒300-0051 土浦市真鍋1-14-17 オクノビル3F  
TEL(029)869-6722 FAX(029)869-6723

## 初心者から乗馬 東海馬事苑

安心とくつろぎをお届けする  
**有限会社 亜細亜警備保障**  
〈施設、イベント、駐車場、交通誘導〉

代表取締役  
尾崎 嗣 朗

本 社 那珂郡東海村舟石川845-4  
〒319-1111 TEL 029-282-7056 (代)  
FAX 029-282-7017  
E-mail:asia\_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

## 「空き家利活用プロジェクト」に参加して



全国的に空き家が増加して社会問題化する中、日立市も例外ではありません。高度成長期に工業都市として発展してきましたが、現在では3千戸を超す空き家が確認されている状況とのことです。このような中で日立市は茨城大学と連携し「空き家利活用プロジェクト」を進めて参りました。市が改修費用200万円を補助し、同大で建築を学ぶ学生が「空き家を改修」した上で「学生シェアハウス」として共同生活する取組です。ただ改修して住むだけでなく、地域との交流スペースも設けた造りとなっています。

建物としては丘陵地に建つ木造2階建て住宅で築45年になります。費用的に大改修は出来なく内部の改修のみとなりました。外観も変えたいとの要望もあり、庭を整備し大学側の予算を用いてパーゴラを造り外観に変化を持たせました。

建築士会日立支部としては、会員有志を募り改修工事をサポートする立場で参加しました。建築を学ぶ学生が改修工事を行うといっても、具体的に工事に携わったことのある学生はあまり居ないのが現状です。

最初は土会のメンバーが工事するのを手伝いながら学生が教わり、次は一緒に工事して最後は学生のみで1室を完成させました。当初はどうして良いのか分からなかった学生たちも次第に自分達で動けるようになり、たくましさを感じました。丘陵地に建つ築45年

の建物はそれなりに不陸・傾斜があり、メンバーでも苦勞する現場状況でした。

茨城大学工学部が日立市にあり、建築を学ぶ学生が身近に住んで居ながら交流する機会がほとんどなかった中で、今回のプロジェクトは学生と交流することが出来た良い機会でした。学生の考えや実態を少しだけ聞くことが出来ました。

また、学生にとっても大学で学ぶものとは違う建築の現場を体験することが出来たことと思います。貴重な体験ではなかったでしょうか。

建築の現場では人手不足、人材確保が難しくなっている中で、一方には建築を学ぶ学生がいます。中には地元就職を希望する学生がいることも聞けました。ただ、受け皿としての建築業界の実態はどうでしょうか？就職先として選択される環境づくりは出来ているのでしょうか。国では働き方改革が進められています。業界では即戦力を求めてしまう風潮があります。このような中で学生に就職先として選択される環境は整っているのでしょうか？

建築士会日立支部としては、今回のプロジェクトをきっかけに大学や学生、行政との交流を図っていきたくと思っています。また、空き家対策や建築の諸問題にも積極的に取り組んでいきたくと思っています。

最後に、今回のプロジェクトに関わった関係者の皆様に感謝申し上げます。



## 平成30年度 茨城県元気な森林づくり活動支援事業 「子どもから大人までマルチ椅子作り体験」

今年で3年目を迎えた「元気な森林づくり活動」。平成30年11月23日の「勤労感謝の日」に龍ヶ崎商店街大通りで行われる商業まつり（いがっぺ市）が開催されました。その中心的な「にぎわい広場」にて茨城県建築士会龍ヶ崎支部は茨城県産材を使用して「子どもから大人までマルチ椅子作り体験」を通して親子のふれあいを感じて頂き、茨城県の森林育成の大切さをアピールして、建築士会が指導サポートして安全に道具の使い方や、もの作りの楽しさを一緒に楽しみました。

建築士会員10名、一般参加者は延べ300人。予定の時間は午前10時～午後3時30分でした。

天候に恵まれ、例年以上の参加者がありました、本年度は「子どもから大人までマルチ椅子作り体験」と「苗木配布」の試みで大盛況となりました。

小さい子から大人まで使用できるマルチ椅子は4



通りの組み合わせが可能で、人が座ったり踏み台になるので安全性を重要視して試作を繰り返し、集材からのサイズ決めは歩留りを上げながら製品になるまでが一苦勞でした。

参加した子供たちも、目を輝かせながら普段は手にしない“金づち”を巧みにに使いこなし、またマルチ椅子を仕上げてゆく姿を親御さん達は温かい目で見守っていました。

長い行列が出来るほど大盛況になり、運営メンバーも人手が足りないくらいでしたので、今後の建築士会参加メンバーの啓蒙にも力を注ぎたいと思います。

自分で作ったマルチ椅子は手入れを施し茨城県産材の良さ、木材のぬくもりを感じて大事にして欲しいです！

参加者の方からも、この活動を長く続けて欲しいとの声もありましたので、今後も地域の子供達とのコミュニケーションを図りたいと思います。



## 住宅省エネルギー講習会開催 (第1回会員のための勉強会)

県西協議会 会長  
筑西支部 支部長 大和田 信雄

平成31年2月13日(水)午後1時30分から4時まで下妻市立図書館2階大会議室にて開催しました。参加人数は46名。準備と司会は常総支部の杉田支部長にお願いしました。講師はLIXILの廣田、中村氏に無料で担当していただきました。

本年平成31年には住宅の省エネの申請が義務化されるに伴う勉強会でしたが、当日のお話では、12月



3日国交省建築環境部会で、2020年住宅省エネ基準説明義務化の報告で進んでいるとのことでした。

(設計士が建築主にこの物件が省エネ基準に適合しているかどうかを説明する制度を新たに義務付ける案)

LIXILでは住宅用外皮計算等ソフトをダウンロードできる体制ですので是非役立てていただきとのお話でした。

## 建築基準法に関する講習会 (第2回会員のための勉強会)

県西協議会 会長  
筑西支部 支部長 大和田 信雄



平成31年2月25日(月)午後1時30分から4時30分まで県西合同庁舎1階大会議室にて開催しました。参加人数69名。年度末の忙しい中、月二回目の会員のための勉強会にもかかわらず大勢の士会員が参加しました。会員以外からは7名が参加。本年は、学校関係の定期調査報告提出の年で、間違いやすい個所

などを審査する側から66ページの資料をもとに丁寧に説明を受けました。

尚、テキストは建築指導課から無償で提供していただき、感謝いたしております。

また防火設備に関しては、毎年報告義務になるという事ですますます定期報告業務は重要になってきました。

# 「道の駅さかい」さかい河岸レストラン茶蔵 増築現場見学会

古河さしま支部 支部長 長谷川 正幸

3月22日(金)14時、折からの強風の中、県西協議会各支部から42名の参加者が集まり見学を開始。境町で用意していただいた資料を基に町づくり推進課の職員から概要の説明を受け、施工者である(株)中和建設の社員より工事についての苦労話などを伺いました。その後自由見学となり、バックヤードまで見せていただくことができました。開店は4月19日とのことで、外構や内部の一部はまだ未完成でしたが、資料をご用意いただき説明をしていただいた境町の職員の皆様、細部にわたる説明、また質問にお答えいただいた(株)中和建設の皆様に感謝である。



河岸レストラン茶蔵への入り口



1階ビュッフェ 説明風景

県西協議会は、筑西、古河さしま、結城、桜川、坂東、下妻、常総支部410名の会員で構成



茨城県知事指定確認検査機関

株式会社 安心確認検査機構

URL:<http://www.ansin-k.jp>

安心で快適な“まちづくり”をサポート

## 【取扱業務内容】(茨城県全域)

- 建築確認・検査業務
- 適合証明業務(フラット 35)
- 長期優良住宅技術的審査業務
- 住宅性能評価業務
- 住宅瑕疵担保責任保険検査業務
- 低炭素建築物技術的審査業務
- 認定表示技術的審査業務
- 既存住宅検査業務
- 建築物エネルギー消費性能適合性判定業務
- 性能向上計画認定技術的審査業務
- BELS評価業務

## 【業務の範囲】

- 10,000㎡以内の建築物の建築確認、及び完了検査並びに中間検査(仮使用認定)
- 施行令第146条第1項第1号に規定する建築設備(エレベーター及びエスカレーター)
- 施行令第138条第1項に規定する工作物

### ■ 本部事務所

〒310-0805  
茨城県水戸市中央 1-8-17

TEL:029-224-8522  
FAX:029-224-8666  
E-Mail:mito@ansin-k.jp

### ■ つくば事務所

〒305-0051  
茨城県つくば市二の宮 2-1-3  
クラフト二の宮ビル 2階

TEL:029-886-3155  
FAX:029-886-8021  
E-Mail:tsukuba@ansin-k.jp

お気軽にご相談・ご利用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

《Web申請 及び 即日審査・交付(詳しくはスタッフまで)を取り扱っています》

## 改正 業務報酬基準の説明会



平成31年3月14日茨城県開発公社ビル4階会議室において、「改正 業務報酬基準説明会」を開催致しました。

業務報酬については、建築士法25条の規定に基づき、建築主と建築士事務所が設計・工事監理等の契約に際し、業務報酬算定方法の基準を、昭和54年建設省告示1206号として初めて制定され、平成21年国土交通省告示15号として改正されました。

近年、建築物の設計業務や工事監理業務が多様化・複雑化したことや、発注者からの要求水準が高まったことに伴い、設計・工事監理に係る業務量が増加し、実態に即した業務報酬基準が望まれ、10年ぶりに平成31年国土交通省告示98号として改正となりました。主な改正内容としては、

### ①業務内容の明確化

(追加業務を整理し詳細なリストを提示)

### ②業務量の明確化

(基本設計と実施設計の業務量の比率を設定)

### ③略算方法の対象拡大

(実態調査を踏まえ略算表の業務量を刷新。最大限の床面積の範囲を略算表へ反映)

### ④難易度の設定

(総合、構造、設備ごとに難易度係数を設定)

### ⑤複合建築物に係る業務量の算定方法の設定

(複合建築物について略算法に準じた方法により算定することができる)

等です。

また情報提供として、建築士人材の継続的かつ安定的確保を目的に、建築士試験の受験資格等を改め、建築士試験の受験機会を拡大することが、2年以内に施行される旨の報告がありました。

今回の講習会は国土交通省担当者による説明をDVD講習により実施致しました。これからも法律改正時等のタイムリーな講習会や定期的な講習会などを、会員の皆様の要望に合わせ随時開催していければと思います。



# 確認を!!



# 建築士免許の、

※カード型免許証明書の他に、紙・免状型(平成29年11月27日以前まで発行)の免許証もあります。

## 建築士免許の提示は法令で定められています

### ○ 建築士免許証等の提示の義務化 (建築士法第19条の2)

建築士は、委託者(これから委託しようとする者を含む)から求めがあった際、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示することが義務づけられています。

### ○ 重要事項の説明等 (建築士法第24条の7第2項)

管理建築士等は、建築主と契約前に重要事項の説明をするときは、当該建築主に対し、建築士免許証又は建築士免許証明書を提示しなければなりません。

### ○ 書面による契約締結の義務 (新設 第22条の3の3)

延べ面積が300㎡を超える建築物の新築に係る設計受託契約又は工事監理受託契約について、書面による契約締結が義務づけられています。

## 日本建築士会連合会では、 カード型免許証明書への書換えを推奨しています

詳しくは  
WEBで検索!

日本建築士会連合会

検索

<http://www.kenchikushikai.or.jp/touroku/index.html>



 国土交通省

 中央指定登録機関  
(公社)日本建築士会連合会

## 第22回 会員美術展



平成31年3月6日～13日 水戸市庁舎1階『多目的スペース』において第22回 茨城県建築士会会員とその家族の美術展が開催されました。

開催当日には水戸市と（一社）茨城県建築士会は災害時における対策業務の応援協力に関する協定を結び、会場には『美術展』と併設で東日本大震災のパネル・災害時の備蓄品・災害時使用できるテントなどの展示と、19名の出展者による58点の作品「書」

「洋画」「陶芸」「日本画」「写真」「押花画」「日本古来の貝合わせ絵」「スケッチ画」「ビーズ手芸」などが展示されました。

また、同時開催の『住宅やブロック塀に関する相談コーナー』には、連日、多くの市民が多岐にわたる相談にと来庁されており、美術展と相談コーナーの併設開催は初めての実施でしたが、この結果を次年度も継続されることに期待したいと感じました。



| 展示者     |       |
|---------|-------|
| ●書      | 青山 孝夫 |
|         | 青木 芽依 |
|         | 篠根みさを |
| ●洋画     | 市川三和子 |
|         | 守田 義広 |
|         | 渡辺 彰吾 |
|         | 浅野 利光 |
|         | 青木 孝二 |
|         | 大槻 薫  |
|         | 大槻美采実 |
| ●陶芸・工芸等 | 酒井 順子 |
|         | 池田 恵子 |
|         | 高橋せつ子 |
|         | 五十君智子 |
| ●日本画    | 棚谷 和子 |
| ●写真     | 柳下 文江 |
|         | 平沼 清美 |
|         | 清水 碩斗 |
|         | 清水 真弓 |

# 営業品目

## コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン  
大型積ブロック  
浮上防止型グレーチング

## 公園資材

防災用かまど  
防災用ベンチ  
防災用シェルター  
インターロッキングブロック  
遊具一式

## 下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート  
アーチカルバート  
ヒューム管カーブ用推進管  
マンホール鉄蓋

## 建築資材

PHC パイル  
地盤改良材



汚染土の仮置場処理対策製品  
土木建築資材の総合商社

## 株式会社 建友

代表取締役 根本 勇

専務取締役 根本 学

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155  
支店 茨城県鉾田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp

## 2月わくわくセミナー 「住宅の寿命を延ばすメンテナンス」

人間の寿命が延びると比例して住宅の寿命も延びる。その住宅の快適性を維持し、より長く住み続けられるようにするためには、日常メンテナンスはどのようにすればよいのか？その問いに答えを出してくれたのが、今回のセミナーの講師、株式会社 小野工務店 小野智孝さんです。小野さんは、住宅の水回り、サッシ、玄関の鍵、換気扇などの不具合の原因とされる付着物（ほこり、汚れ）を、独自の方法で除去し、あきらめていた方々から大変喜ばれています。快適性を維持するために大切なことは、業者に依頼するようになる前に、自分自身で定期点検をして必要なメンテナンスをすること。そのための方法は各設備メーカーが、メンテナンスのスケジュールや方法を紹介していますし、「取扱説明書」を読んでいれば防ぐことの出来た不具合も多々あるとのこと。また、住宅産業協会のHPには、住

まいの日常メンテナンスの方法やスケジュールおよび費用などが記載されています。私も日常の忙しさに追われ、住まいのお手入れを怠りがちの日々を送っていますが、「やる気」と「時間」を作り、出来ることから実行して行きたいと思います。



講師の小野さん

## 3月ラブアークセミナー 「竹細工ワークショップ」

ラブアークセミナーでは毎年人気のものづくりのワークショップですが、竹細工をやってみたいという意見があり、数年前から竹細工を習いに行っている「御前山竹細工伝習会」会長の根本一行さんに講師をお願いしました。

昨年から試作を重ね、どのようなものを作りたいか意見を聞きながら考えていきました。普段に使えるもので作り甲斐のあるものと思い、六つ目編み籠にしました。まずは基本の六つ目編みを作り、そこから一段一段竹ひごを足し六つ目に編んでいきます。どのひごを上に乗せ、どの位置で差し替えたらいいか難しいのですが、皆様普段からものづくりに携わっていることもあり、少し難易度が高かったのですが無事に完成しほっとしました。

上手くお伝え出来たかわかりませんが、竹細工の楽しさ、自分で作った作品を使う喜びを感じていただけたら嬉しいです。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



# ぜひ、一緒に!!

茨城県建築士会では会本部の事業や、各支部、青年・女性委員会において様々な事業や交流活動を行っています。  
 さまざまなCPD、自己研鑽や情報交換、地域貢献活動、あるいはリフレッシュのために会員達が活動の輪を広げています。

Home

建築士免許申請

書籍・保険

アクセス

お役立ち情報

CPD制度・専攻建築士



## (一社)茨城県建築士会 入会申込書



|                  |              |        |         |                               |                              |   |     |
|------------------|--------------|--------|---------|-------------------------------|------------------------------|---|-----|
| 紹介者会員            |              |        |         | 年                             | 月                            | 日本受付  |     |
| 年 月 日 入会を申し込みます。 |              |        |         |                               |                              |   |     |
| フリガナ<br>氏 名      |              |        |         |                               |                              | <b>顔写真</b><br>M=24mm<br>H=30mm<br>(会員証への<br>貼付用です)        |     |
| 生年月日             | 昭和<br>平成     | 年      | 月       | 日                             | 生まれ                          |   | 性 別 |
| 本 籍              | (都道府県名のみ記載可) |        |         |                               |                              |   |     |
| 現 住 所            | 〒            | □□□□   | □□□□    | Eメール                          |                              |   |     |
|                  |              |        |         | T E L                         |                              |   |     |
| 勤務先名称            |              |        |         | Eメール                          |                              |   |     |
| 勤務先住所            | 〒            | □□□□   | □□□□    | T E L                         |                              |   |     |
|                  |              |        |         | F A X                         |                              |   |     |
| 級 別              | 1級 ・ 2級 ・ 木造 |        |         |                               |                              |   |     |
| 建築士免許<br>登録番号    | 取得県          | □□□□   | 県       | 登録年月日                         | 年                            | 月 日   |     |
|                  | 第            | □□□□   | 号       |                               |                              |   |     |
| 支 部 名            | 支 部 長 印      |        | 会 員 種 別 |                               | 正 会 員 ・ 準 会 員                |   |     |
| *会員番号 □□□□□□     |              | *事務局記載 |         | *顔写真 <input type="checkbox"/> | *名簿 <input type="checkbox"/> | *会報 <input type="checkbox"/> *入力 <input type="checkbox"/> |     |

ご注意：記載は楷書で丁寧にお願いします。また、入会金および会費と顔写真1枚を添えてください。

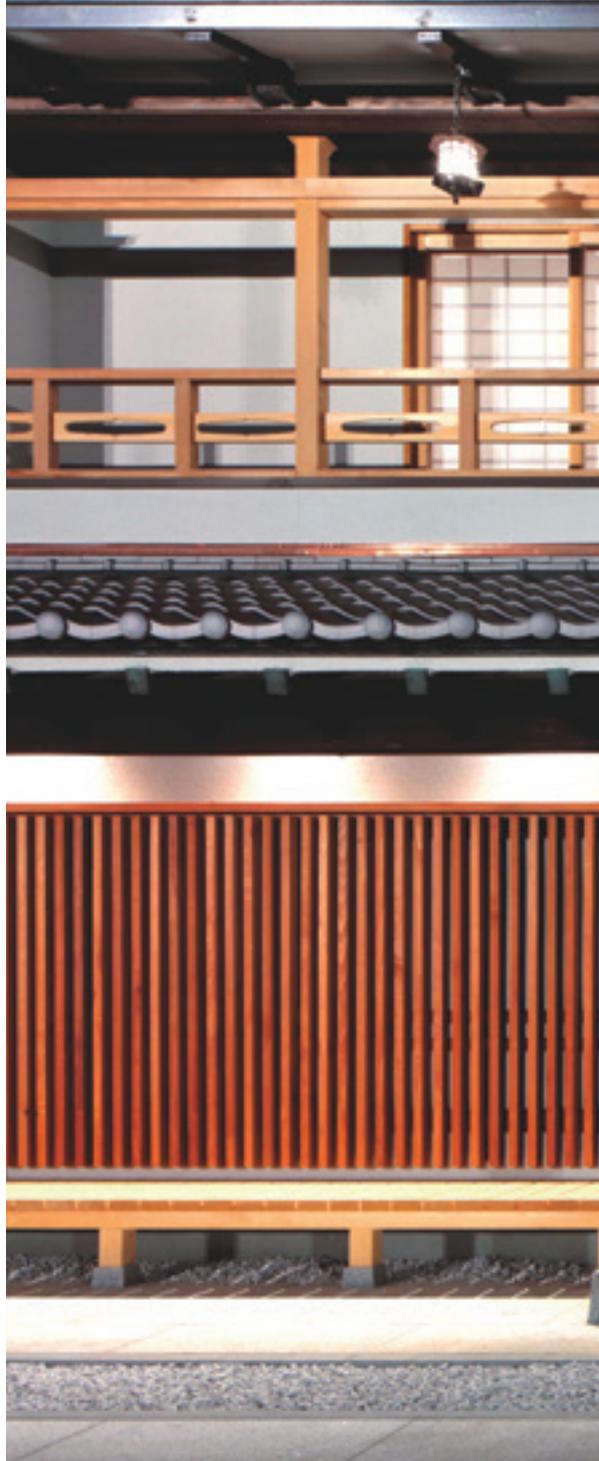
2016~2018



株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階  
TEL 029 (227) 0222  
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人  
茨城県建築士会